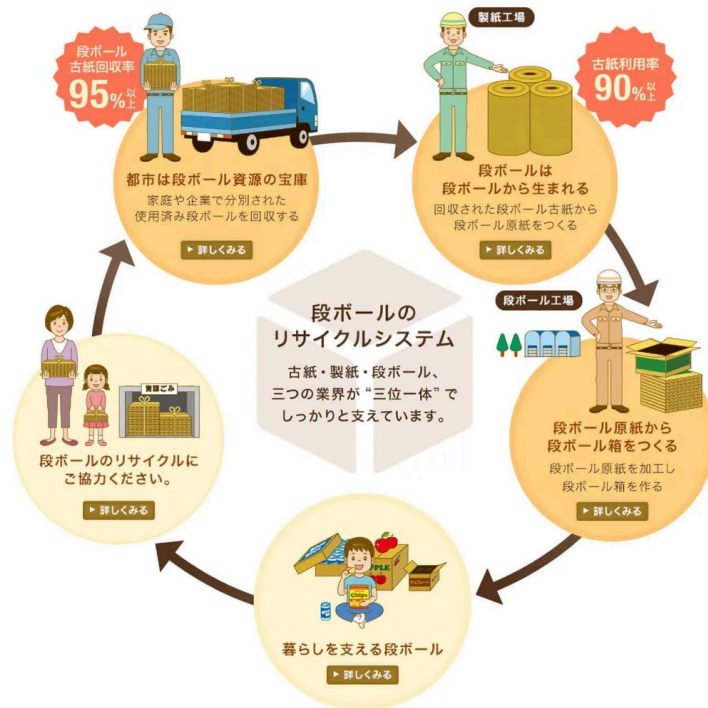


包装なくして商品は届かない、エッセンシャルな包装

包装なくして商品は届かない、エッセンシャルな包装



段ボール古紙回収率は？

段ボールはすべてオーダー
メイドで作られている！

暮らしを支える段ボール
の歴史は？

出典「全国段ボール工業組合連合会」

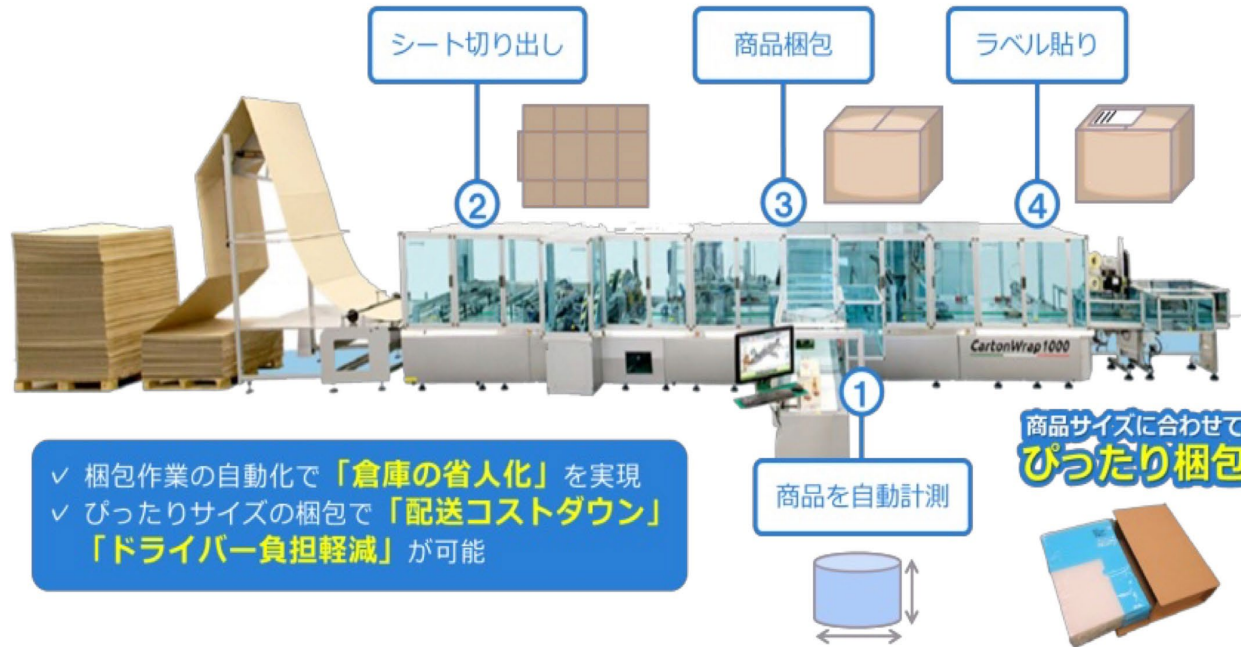
- ・段ボールの回収率は95%以上、古紙利用率は90%以上となっている。
- ・日頃から使用されている段ボールは、すべてオーダーメイド(箱形式、寸法、強度設計など)で作られている。
- ・段ボールは英国で1856年に生まれ(168年前)、主にシルクハットの汗取り用として使用されていた。
日本では1909年に(約115年前)今の段ボール製造に成功し、わが国の段ボール産業が産声をあげた。

包装なくして商品は届かない、エッセンシャルな包装

「ぴったりサイズ」の箱で梱包させたい

単身世帯や共働き世帯の増加、高齢化などの社会変化に伴い、「インターネット通販」にて商品を購入するというニーズが高まっています。

今までは、段ボールメーカーより何種類かの段ボール箱を購入し、その箱に商品を入れて梱包していた為、どうしても「ぴったりサイズ」の箱での梱包は出来なかったが、梱包する現場でその都度箱を作ることにより、「ぴったりサイズ」の箱での梱包が可能となり、包装資材削減、包装容積が減る事により輸送費の削減を図ることが出来る為、環境低減にも貢献できると考える。



「ぴったりサイズ」の箱で梱包することで段ボールの使用面積が減り、また商品が箱の中で動かないように使っていた緩衝材を減らすことが出来、包装資材を減らすことで環境的にも有効である。

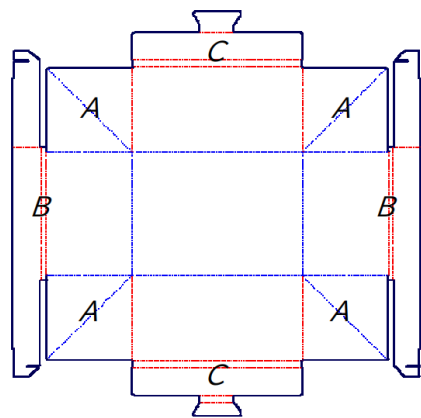


「ぴったりサイズ」の箱で家に届くため、段ボール回収日まで保管しておく段ボールの量が減り、保管スペースの削減となる。



「ぴったりサイズ」で梱包することが出来れば、梱包サイズが小さくなる為、輸送効率を上げることが出来るため、2024年の物流問題の解決策のひとつになれるのでは？と考えます。

包装なくして商品は届かない、エッセンシャルな包装



赤線 … 逆折り
青線 … 順折り

※黒色太線はカット線です。

A 部を C 部の後ろの面に折り曲げる (4箇所)

B 部を外側に折り曲げ C 部の後ろで組む (2箇所)

C 部を外側に折り曲げ挟み込んで固定 (2箇所)

完成！



お祭りなどで使用されるイベントクーラーを耐水段ボールで作ってみました。リサイクル可能な素材で設計している為、通常の段ボール回収へ出すことが可能な為、環境配慮仕様となっている。

生活に「環境」にやさしい選択を

お祭りなどで使用されるイベントクーラーは通常リターナブル容器が使用されている。ただ冬場の需要が少ないので保管場所で苦慮している。

そこでお客様からワンウェイで利用できるイベントクーラーの開発依頼があり対応。
リサイクルできる素材として耐水段ボールを使用し、イベント終了後一般段ボールとしての古紙回収に出せることで環境配慮を実現。また、現地で容易に組み立て可能な形状を設計し、持ち運びも便利。



現地で容易に組み立て可能な為、持ち運び及び保管に便利。保管が必要な現状のイベントクーラーに比べ、輸送費及び保管費の削減が図れる。